

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	エフビー介護サービス株式会社	代表者	柳澤 美穂	法人・事業所の特徴	1 個別ケア ひとりひとりが歩んでこられた理解と共感に基づき、笑顔と役割を持ち続けられるように、自立支援を基盤としたケアを行います。 2 認知症ケア 認知症の正しい理解に基づき、ひとりの「人」としての尊厳を大切にして、その人らしく安心して過ごせる居場所と関わりを提供します。 3 看取りケア 穏やかな日々の暮らしの場で安らかな旅立ちを迎えられるように、さまざまな職種のスタッフが協力して、利用者様とご家族に寄り添い支えます。 4 地域ケア 住み慣れた地域で安心して最期まで生活が送れるように法人内外の組織住民の方々との連携を図り支援します
事業所名	小規模多機能あったかほ一む坂城	管理者	佐山 邦仁		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	人	3 人	1 人	1 人	1 人(兼)	人	2 人	人	8 人

項 目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	LIFE の評価と共に 3 か月毎のモニタリングを職員が行うことで、より、利用者様の状況とニーズに寄り添ったケアを実施していく。	利用者様によっては「～したい」が見えない・わからない方もいて、上手く引き出せていないこともある為、利用者様個々の目標に対して必要なケアの把握だけでなく、過程を確認しながら、事業所内での共有を行っていく。	特になし。	記録媒体を活用しながら、利用者様の意向を適宜確認し、根拠を精査しながら、モニタリングやカンファレンスの内容を充実させていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	引き続き、感染症予防を含めて、日頃からの環境整備を行っていく。事業所周围の環境への配慮を行っていく。	日常的な清掃を実施することで衛生的な事業所環境を維持出来た。	清潔感があり、施設特有の臭いも感じられない。	施設外周にも目を配りながら、訪問しやすい環境を作っていきたい。
C. 事業所と地域のかかわり	事業所へ来ていただけるような行事を企画実施し、各職員間でも地域との関りが持てるよう、地域資源の確認を行う。	職員個々で地域との関りを深めることは今後も課題。ご家族だけではなく、利用者様の馴染みの方や民生委員の方との交流も進めて行く。	特になし。	継続して、地域の方を招くイベントを計画し、地域との関係性を構築していく。また、ボランティア等の受け入れも活発に行っていく。

D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み	事業所主体ではなく、各利用者様 への聞き取りを行ったうえで、出 向いた中で、何を行えたかを評価 していく。	どんど焼きなどの地区行事や町 のお祭りに利用者様を連れてい くことが出来た。	継続して地区の行事に出向いて もらえればいい。	事業所のサービスだけで支えて いくのではなく、地域資源の活用 と共に、自宅や地域で暮らす利用 者様の生活を支援していく。
E. 運営推進会議を 活かした取組み	事業所内での取組みだけでなく、 地域の抱える問題等にも目を 向けていく。引き続き、交替で 様々な職員の参加を実施してい く。	対面での開催が実施出来た為、地 域や行政からの意見を直接伺う ことが出来た。管理者以外の事業 所の職員が参加する機会が少な かった。	事業所の内容やサービス自体の 内容についても理解が深められ たことと、事業所を知る機会とな れた。	継続して、地域課題の集約を行い ながら、事業所として出来る提 案・実施を行っていく。
F. 事業所の 防災・災害対策	BCP 計画を適宜見直しながら、地 域の方にも実情を把握していた だく。また、事業所での災害訓練 や地区の災害訓練等への相互の 参加を検討し実施していく。	BCP 計画に基づき、事業所内での 取り組みは行えたが、対外的に協 力を図るまでには至らなかった。	有事の際には互いに協力し合え る関係性を構築していきたい。	事業所内を環境や利用されてい る方の特性を理解していただき ながら、有事の際に互いに協力で きるように情報共有を行ってい く。